桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2019
No.165

令和元年8月20日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・FAX65-4555
メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ http://www.keisen-shakyo.or.jp

やっぱり夏はこれだね！

なにが流れてくるかワクワクするそうめん流し

イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

令和元年度

委嘱状交付式&地域福祉講演会

6月22日（土）に、福祉部委嘱状交付式を開催しました。土師三区の吉住靖子福祉部長に、35行政区を代表して福祉部長及び福祉員の委嘱状を受理していただきました。社協とともに、福祉部活動推進において、ご協力をよろしくお願いします。

交付式終了後は、北川保健師（健康福祉課健康推進係）から、特定健診についての説明がありました。特定健診は、高血圧、糖尿病などの生活習慣病予防を目的としています。現在、治療中の方も健診の対象となります。健康でいることは自分自身や家族のためでもあり、医療費の抑制にもつながります。生活習慣や食生活の見直しを考え中の方は、随時相談を受け付けているので、希望する方は事前に連絡をお願いしますと説明されていました。

▲委嘱状を代表受理する土師三区福祉部長吉住氏

土師三区 福祉部活動報告

土師三区は桂川町のほぼ中央に位置し、395名（平成31年4月1日現在）の方々が生活しています。高齢化率は35・95％（平成31年4月1日現在　桂川町調べ）、35行政区中20位という地域です。

土師三区福祉部は、奇数月の15日に定例会を行い、行事の打ち合わせや反省・課題点などについて、話し合いをしています。むつみ会や子ども会との合同で実施する七夕やもちつき大会の世代間交流を目的とした行事では、たくさんの子どもをはじめ、地域の参加者も多く、大変にぎやかです。日帰り研修旅行では、美容と健康を重視した食事と、色とりどりのブーゲンビリアに囲まれ、楽しい一日を過ごすことができました。町主催の介護予防教室を組み合わせ、地域の交流を深めています。時折ユーモアを交えながら発表いただいた土師三区福祉部の皆様、ありがとうございました。

▲今年の七夕も多くの子どもが参加しました

▲舞台で自己紹介をする土師三区福祉部の皆さん

講演　今、地域住民に期待され必要とされる役割は何か
～住み慣れた地域で生活する仕組みづくり～

講師　福岡県立大学　教授　村山 浩一郎 氏

現在の日本社会は人口減少と少子高齢化が進んでいます。講師の推測では、2040年の桂川町の人口は20～30％減少し、高齢者だけに限らずひとり暮らしの方が増え、桂川町全体の40％を占めることになるだろうと冒頭に話されました。また、内閣府の調査によると、日本人は他国と比較して、家族や親族に頼る傾向が強くあります。近隣との「つながり」が薄い社会的孤立は、社会福祉に大きなリスクをもたらす要因ともなります。そのため「つながり」の再構築が求められており、国は「地域包括ケアシステム」における住民主体の取り組みを推奨していると補足されました。

このような現状の中で、住民は地域の伝統的なコミュニティを大切にしながら、住みよい地域にするためにはどのような活動が必要かを見直すことで、改めて地域の重要性に気づき、何らかの発見につながっていくのではないかと説明されました。この見直しはすぐに結果が想定できるものではなく、「5年先の計画」と見据えて、長期的に行っていただきたいとのことでした。

今できていることが、5年後または10年後に同じようにできるかを想像したとき、あなたはどう思いますか？地域で支え合う基盤づくりは、決して他人事ではなく、将来の自分自身を助ける活動に結びついてくることになるでしょう。桂川町社協では基盤づくりのひとつに、登録会員どうしでちょっとした困り事を助け合う「たすけあい桂川」の活動を行っています。このような活動と見守り活動・交流の場となる「居場所」づくりが桂川町にもっと広がっていくこと目指して、皆さんと一緒に活動していきたいと思います。

▲117名の方が熱心に講演を聞きました

健康マージャン体験記

7月2日（火）、定例懇談会において健康マージャンを体験しました。昔、主人が楽しんでいたので知ってはいましたが、実際私がマージャンをするのは初めてで、胸躍る思いで当日を迎えました。

三人一組で4チームにわかれ、社協職員の指導でゲームが開始されました。まず、サイコロを振って親役を決め、親は4枚の牌を各チームに配ります。新たに1牌をもらい、役づくりのために指導者のアドバイスを参考にしながらチームで話し合い、不要な牌を1つ手元から外します。これを繰り返し、役づくりの完成を目指します。

自分の役づくりに気を取られ、他のチームから配牌を催促されることもしばしば…役づくりの手法を覚えて、いろいろな上がり方をマスターしたいです。

ゲームの進行に伴いマージャンの楽しさも少しずつわかるようになり、今後も機会があればもっと楽しみたいという気持ちになりました。

豆田区老人クラブ　藤本 チドリ

済生会飯塚嘉穂病院の「健康教室」受講成果

6月19日（水）、土師コミュニティセンターで土師二区と土師三区を対象とした済生会飯塚嘉穂病院の「健康教室」が開催されました。

各種の測定機器等を携えた病院長をはじめとする医師・看護師等11名の来訪を得て、31名（男8名、女23名）の参加者が身長・体重・血圧・血糖値・骨密度の測定を行いました。

次に病院長自らによる健康相談及び管理栄養士による栄養相談を受け、まとめとして病院長から「糖尿病について」の講話がありました。

死因に関する過去と現在の比較、糖尿病の県内地域別発生順位と予防・運動の必要性等々を話術巧みに話していただき、「あらゆる物事に興味を持ち、さらにこの種の教室等に参加することが健康寿命を伸ばすことです。」と締めくくられ、参加した各人がご多忙な中、来訪の医師団の皆様に感謝しつつ、自己健康度の認識と健康維持意識の振作が図られた有意義なひと時を得ることができました。

土師二区福祉部長　山下 國治

出前講座「きこえと補聴器Q&A」

7月30日（火）、九州リオン株式会社の言語聴覚士さんから①音が聞こえるしくみ、②難聴と認知症の関係性、③失敗しない補聴器選びについてお話を聞きました。

聴力は30歳頃から徐々に低下し、60代から老化がさらに進みます。加齢に伴う聴覚の低下は本人も気づかないまま、対応が遅れることも少なくありません。そのような状態になってくると、コミュニケーションがとりづらくなり、疎外感や孤独につながることも考えられます。また、車の音にも気づきにくくなり、大きな事故になる恐れもあります。難聴は目に見えにくいものであるので、周囲の方が気づいてあげることも大切です。聞こえに不安を感じたら、耳鼻咽喉科に相談し、原因によっては治療で治るケースもあるので、早い時期に医師の診断をお勧めしますとのことでした。

補聴器を選ぶ時は、さらに聴力が低下しても対応できるものにすること、必ず試聴をおこない、操作や装着感を確認することを勧められました。また、使用開始から5年間が寿命のひとつの目安となりますが、販売店での定期的な点検を受けることも長持ちすることになると教えてくれました。

吉隈一区福祉部長　松尾 由紀子

「みんなの願い」が届きますように…

7月7日（日）、二反田区福祉部で七夕行事を行いました。開始時間が近づくと、新築の香りが漂う集会所にぼちぼちと皆さんが集まってきます。

福祉員は参加者がより楽しく活動できるようにと、朝早くから入念に準備を進めました。準備された短冊にそれぞれが願い事を書き、年配の方々は昔むかしに折った折り紙を思い出しながら、手先を器用に使い、たくさんの飾りを作りました。出来上がった飾りは、男性陣が笹に取り付けます。みんなの願いが天まで届くことを願いながら、集会所の玄関先に取り付けました。

最後に、福祉員お手製の「おむすび」と自宅から持ち寄ったお惣菜で会食会を行いました。いろいろなお話をしながら、さらに交流を深め、総勢20名で楽しく過ごすことができました。

今後、建設される町営団地に来られる方々も気軽に参加できる福祉部を目指して、顔を合わせることの大切さをより多くの人に伝えていきたいです。

二反田区福祉部長　湯浅 民子

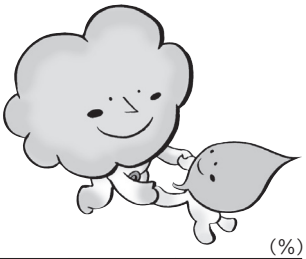
新役員紹介

桂川町社会福祉協議会は、町内の各種団体と組織から推薦された10名の理事・2名の監事、23名の評議員で運営しています。社会福祉法の改正により理事・監事と評議員の任期が異なることになり、今回は理事・監事のみの改選となりました。評議員の一部変更もありますので、ご紹介します。また、旧役員の皆さま、任期期間中のご協力ありがとうございました。

氏　名	選出母体	行政区	氏　名	選出母体	行政区
理事（10名）					
会　長			大村　和夫	老人クラブ連合会	九郎丸
田中　光朗	学識経験者	笹尾一	原　　裕子	障害者福祉施設 ひなの家	土師二
副　会　長			齊藤　　裕	人権擁護委員会	笹尾一
原口　孝子	民生児童委員協議会	平山二	木原みゆき	食生活改善推進会	土師二
神﨑　敏幸	区長会	寿命	吉川紀代子	議会	笹尾一
			右田よう子	ボランティア連絡協議会	土居三
			江藤　栄次	学識経験 行政	土居一
監事（2名）					
原中　政道	財務管理識見者	吉隈二	栗原　和子	社会福祉事業識見者	瀬戸
評議員（変更）					
旧			**新**		
中野美智子	ボランティア連絡協議会	九郎丸	今田貴美子	ボランティア連絡協議会	土師三

平成30年度 決算報告

（平成31年3月31日現在）



平成30年度の決算について、5月23日・24日に監査を受け、6月4日の理事会、24日の評議員会で承認されました。事業の収支を報告いたします。

●収入財源の内訳

（%）

会費	寄附金	県補助金	県・町助成金	県・町受託金	事業収入	共同募金	学童	雑収入	その他
1.98	0.93	0.03	35.23	0.3	0.8	3.00	56.18	0.03	1.52

●事業活動・その他の活動による収支

（円）

経理区分	収　入	支　出
法人運営事業	17,055,113	17,972,458
地域福祉活動事業	13,976,034	13,976,034
生活福祉資金貸付事業	284,374	284,374
献血推進事業	329,000	329,000
共同募金配分金事業	2,859,619	2,859,619
部会事業	190,000	190,000
子育て支援事業	140,000	140,000
学童保育所事業	44,656,648	44,656,648
合計	79,490,788	80,408,133
当期資金収支差額合計		▲ 917,345
前期末支払資金残高		1,960,493
当期末支払資金残高		**1,043,148**

●財産目録

（円）

資産の部	資産の内訳	金額
流動資産	現金	20,906
	普通預金	4,792,847
	当座預金	2,211,512
	事業未収金	167,950
	未収金	319
	立替金	494,000
	前払金	-11,664
	仮払金	28,000
固定資産	基本財産	1,000,000
	その他の固定資産	49,262,398
	福祉事業積立預金	3,197,646
資　産　合　計		61,163,914
負債の部	**負債の内訳**	**金額**
流動資産	事業未払金	5,306,772
	預り金	1,156,350
	前受金	197,600
固定負債	引当金（退職金）	26,483,950
負　債　合　計		33,144,672
純資産合計		28,019,242
負債及び純資産の部合計		**61,163,914**

令和元年度 ～いたわりの この手が 福祉の町づくり～

賛助会費のお願い

社協とは?

桂川町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づいて設立された公共性の高い民間の団体です。

当社協は、区長会・民生児童委員協議会・福祉部・当事者団体・ボランティア団体・町内の福祉施設などと協力・連携をはかり地域福祉の推進に取り組んでいます。

賛助会費とは?

桂川町社会福祉協議会の活動に賛同していただける住民の方に、地域福祉事業の活動にご支援いただくものです。当社協が進める事業の財源は、皆様からの賛助会費・共同募金・寄付金と町からの補助金・受託金などです。賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で、重要な財源です。ご協力よろしくお願いします。

平成30年度賛助会費実績額

1,573,800円

平成30年度は、皆さまのご理解とご協力により、多くの賛助会費を集めることができました。役職員一同、深く感謝申し上げます。

※賛助会費は、社協収入財源の1.98%です

共同募金配分金事業

62,025円(3.9%)

◎ひとりぐらし高齢者等給食サービス事業 など

子育て支援事業

140,000円(8.9%)

◎トライアングル活動助成金
◎手作りいろいろ教室
◎リフレッシュ事業

団体活動助成事業

255,000円(16.2%)

◎衛生組合連合会
◎老人クラブ連合会
◎手をつなぐ育成会
◎障害者関係連絡会

地域福祉活動事業

906,263円(57.6%)

◎福祉部活動事業の推進
◎地域福祉講演会
◎レクリエーション・ボランティア「クリップの会」派遣
◎サロン「ほっとスペース」
◎終活セミナーなど

法人運営事業

210,512円(13.4%)

◎ホームページ運営費
◎運営事務費 など

令和元年度賛助会費のお願い

賛助会費制となり39年目となります。平成30年度は、皆様のご理解・ご協力により、**1,573,800円**集まりました。この賛助会費は、地域福祉事業の活動に役立てられています。

令和元年度も、**『誰もが安心して暮らせる地域づくり』**を推進するために、福祉のまちづくりに役立てていきますので、ご協力お願いいたします。

隣組長さんへのお願い

お忙しい中、大変ご迷惑をお掛けしますが、隣組長は指定の封筒にお取りまとめの上、**9月30日(月)**までに区長へお渡しいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1口 500円

青色防犯パトロール活動

福岡県警察は、犯罪のない「安全で安心できるまちづくり」の実現を目指す活動を行っています。その一環として、青色防犯パトロールがあります。桂川町社協では、平成30年度からこの活動への協力を開始し、社協車に青色回転灯を装備して桂川町内を巡回しています。主な活動時は、民生児童委員協議会が実施している給食サービス事業のお弁当を利用者の自宅に届ける時です。その時間帯は、小学生の下校時間なので、犯罪未然防止への効果が期待されます。

桂川町内での犯罪を未然防止するためにも、見知らぬ人への積極的なあいさつなど、声かけにご協力をお願いします。

住宅型有料老人ホーム
ほたる
嘉穂郡桂川町吉隈1200
☎0948-65-2610
FAX0948-65-2810

お客様に「最高の時間」を提供します

株式会社カイトは桂川町を中心に高齢者福祉施設を運営させていただいております。

私たちは、いつでも〝人〟を真ん中に人間味のあるサービスと四季を感じられる人生のお手伝いをさせていただいております。

弊社が運営している「デイサービスひかり」「住宅型有料老人ホームあかり」「デイサービスあかり」「高齢者シェアハウスゆとり」「住宅型有料老人ホームほたる」「デイサービスほたる」に加えて、令和元年7月1日より「住宅型有料老人ホームいろり」「デイサービスいろり」が新規オープンとなりました。

いずれも、利用者様の皆様に気配り・目配り・心配りのできる施設となっております。ご見学やご相談など、お気軽にお問合せください。

代表　奥野 敬之

特定非営利活動法人 嘉飯山ネットBASARA
グループホーム わたぼうし
嘉穂郡桂川町寿命143-3
☎0948-29-0880
（問い合わせは支援センターBASARAまで）

わたぼうしだより

グループホームわたぼうしは、いつもは阿部さんのおいしい手料理を夕食に食べています。そして月一回外食もしています。

みなさんで、買い物にでかけ、いろいろなお店で食事をします。

今月は桂川にあるラーメン屋さんに行きました。宮野さんは行ったことがあるようで、何がおすすめか教えてもらいみんなでおいしく頂きました。

買い物も食事のお店もみなさんの行きたいところに行きます。いつもどこで食事をするかは迷いながら決めるのですが、みなさんいろんなお店をよく知っています。月一回の外食をみんなで楽しんでいます。

世話人　小山 奈美

ありがとうございました

令和元年5月1日～令和元年7月31日

香典返し寄付金

◉土師一
飯田　照子様（故夫　健様）
飯田　俊雄様（故妻　文子様）

◉土師二
稲岡キミ子様（故夫　一得様）

◉土師三
穂坂　義和様（故母　甲様）

◉土師五
田川　浩智様（故父　到様）

◉土師六
足立真由美様
（故母　久留島　シゲ子様）

◉土師七
澤田　富子様（故子　清様）

◉土居一
野上　一彦様（故父　忠實様）

◉土居三
古賀　博之様（故母千鶴子様）

◉吉隈三
芳中　国春様（故母三千代様）

◉笹尾一
中川　敏晴様（故妻　玲子様）

◉笹尾二
濱崎　美幸様（祖母　博子様）

◉貴船
竹野千恵子様（故夫　久様）

◉九郎丸
神﨑　満様（　恵喜子様）

◉第二豆田
山下　功様（故母　須賀様）

◉寿命
村田　耕二様（故父　五生様）

◉グレインヒルズ
中川　満雄様（故妻　和子様）

寄付金合計251,000円

お知らせ

福祉のつどい ～ひまわりフェスタ2019～

楽しい催しが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

日　時　9月29日（日）10時30分～14時頃
場　所　住民センター ふれあい広場
内　容　ボランティア団体や福祉関係施設によるバザー
体験コーナー、作品展示、ステージ出演、物品販売など
消費生活センター相談も同時に開催
※雨天決行

ひとりぐらし高齢者会食交流会

園児や参加者の演芸をみながら、皆さんとおしゃべりを楽しみ、ゆっくりとしたひとときを過ごしませんか？

日　時　10月28日（月）10時30分～13時30分
場　所　住民センター
対象者　桂川町在住で、今年度中に70歳以上になる
ひとりぐらしの方
参加費　無料
※詳細については、担当地区の
民生児童委員がご案内します

託児ボランティア養成講座

託児ボランティア団体の子育て支援「Wa-Wa」と一緒に、子どもの見守りや一緒に遊んでいただく、託児ボランティアを養成する講座です。資格は特に必要ありません。子育て経験や、ちょっとした時間を活用して、乳幼児の笑顔に癒されてみませんか？

日　程	内　容
10月30日（水）	講演：子どもの現状について
11月 6日（水）	実技：子どものケガと予防と応急処置
11月20日（水）	実技：子育て支援Wa－Waの活動に参加
11月28日（木）	実技：スクラップブッキング

時　間　10時～12時
場　所　いきいきセンター桂寿苑
参加費　無料（託児は要相談）
※11月6・20日は動きやすい服装で参加ください
※1回だけの参加でも構いません

ご協力お願いします

プルタブ・ペットボトルのキャップ・ラップの芯・使用しなくなった眼鏡・部分入歯・リコーダーを集めています。ご自宅で不要の場合は、桂寿苑へお持ちください。

地域でできるレクリエーション講座

福祉部や団体の集まりで活用できるように遊具の楽しみ方やレクリエーションをみんなで学びます。簡単ですぐにできる内容ですので、気軽にご参加ください。

日　程	時　間	内　容
10月18日（金）	10時00分～12時	社協遊具でのゲーム
11月14日（木）	13時30分～15時	健康マージャン（講師：栗木 剛 氏）
12月20日（金）	10時00分～12時	レクリエーション（指導：クリップの会）

場　所　住民センター
参加費　無料
※動きやすい服装で参加ください

リフレッシュ事業 ～毎月実施～

お子さまをお預かりしている間、日頃できなかった事に・・・
ゆっくり時間を使ってみませんか？
買い物へ、ランチへ・・・。
あなただけの時間を楽しんでみませんか？

日　程　9月11日・10月9日・11月20日・12月11日
1月 15日・2月12日・3月18日（すべて水曜日）
時　間　10時30分～13時30分
場　所　いきいきセンター 桂寿苑
定　員　10名（生後3カ月からお預かりします）
託児料　1回100円/人（おやつ代含む）
対　象　桂川町在住の方
メ　切　実施日の1週間前（余裕があれば当日受付できます）
持参物　お弁当・飲み物・着替え・その他必要な物
託　児　子育て支援Wa-Waが担当

問合先　桂川町社会福祉協議会（いきいきセンター「桂寿苑」内）☎65-2271 FAX65-4555

INTERVIEW

このひとに聞きました

諫山（いさやま） 郁（かおり）さん

プロフィール

◎年齢　56歳
◎住所　桂ケ丘
◎趣味　音楽鑑賞・美術館めぐり

■聞き手
原口 孝子
右田 よう子

地域で「かつらカフェ」を立ち上げたすぐれ者と聞いて、どんなゴッドマザーかと思いきや、まだ少女っぽさも垣間見える、若々しい女性です。彼女はヘルパーで働いていた時に、認知症の方に接し、ご本人と家族の大変さを知りました。「認知症ケア専門士」の勉強をしながら、病気の対応やストレス発散を地域の中で取り組むことができたらと考えたそうです。

現在、博多まで通勤をしながら、休日に「たすけあい桂川」のスタッフとして大活躍中。サロンの立ち上げの手順や内容など、まだ取り組んでいない地域に必見の、参考になるお話をたくさんしていただきました。

Q1 「かつらカフェ」を立ち上げたきっかけは？

前の仕事をやめて、次の仕事に入る時に桂川で「ひまわりカフェ」が始まりました。何回か参加してみて、飯塚や嘉麻にはたくさんあるのに…。自分の地域で始める方がいいと思い、立ち上げました。

Q2 立ち上げの方法は？

まず、区長に相談しました。そして区の総会で提案し賛同を得たので、さっそく近隣のメンバーを集め趣旨を説明しました。それからみんなで話し合いを重ね、「いきいきサロン」のような感じで始めました。

Q3 運営方法と、内容は？

○公民館で月一回
○土曜日10時～12時
○参加費一〇〇円（公民館の使用料を免除してもらっているので、この会費で運営できています）
○お菓子・飲物
（お茶、紅茶、コーヒー）
※こだわりは皆さんから寄付していただいた、素敵なコーヒーカップで飲み物をお出ししているところです。
○内容は、基本的に自分で決めて、案内のチラシを作り、全区民に回覧しています。
○当日は、60代のスタッフ二、三人と楽しくやっています。

Q4 息抜きの方法は？

ドライブ・旅行又、美術館にも行きます。

Q5 もし、若返りができたらいくつ頃？

20代頃です。結婚して、子育てしていた頃です。大変だったけれど、一生懸命で楽しかったです。

桂ケ丘から元気を発信!!

編集後記

梅雨は過ぎたが、自然の猛威は、まだ続く。人間が自然を省みない限り、驚異は、どんどん身近なものになりつつある。

雨が降らなければ、水不足。降れば降ったで災害が起こる。自然を守るため、私たち一人ひとりに何ができるのだろう。プラスチックを減らす努力?･ごみの分別の徹底･エアコン温度の設定等々なのか?

でも、先進国といわれる日本では、大量消費･大量廃棄が日常的に行われている。これが回りまわって自分たちに、自然の脅威として返ってくるのではないのか。先進国の「ごみ」は、発展途上国へ持ち込まれ、その国の自然を破壊する。

また、自然を破壊された発展途上国では、武力闘争･食料不足･貧困による学力不足･食を得るために少年が武器を持つ。それらが負のスパイラルになって、世界に拡散される。

これらを考えると、自国だけでは、今の異常気象･事態を止めることは、出来ないとつくづく思い知らされる昨今だ。

mai
（泉ケ丘）

あまりの問題の大きさに、私の考え･力だけでは、どうにもならない。でも、少しでも、自分のできることを一つひとつやっていきたいと思う。

…生ある限り…

広報部員 尾﨑 龍司

感謝の気持ちでいっぱい

母が6年前、高齢者施設へ入所し、3年前に亡くなりました。それから、ひとり暮らしをしています。母を頼りに生活していた部分を自分で行うようになりましたが、ほとんどの食事はできあいの総菜やインスタント食品を購入して、済ませていました。母はきれい好きで、きちんと整理整頓をしていましたが、私にはその分野がどうも苦手で、済ませた食事のトレーや食品の空き袋が部屋の片隅に取り残されるようになりました。そのうち、さらにたくさんの物で畳や床が見えないくらい山積みとなりました。近所の方々から自宅の片付けを手伝ってくれるとの声かけもありましたが、隣組を抜けたことから、その親切さに甘えることができない気持ちが強く、断りました。

持病が悪化し、だんだんと歩行が困難になったので、介護保険の申請を行ったところ、要支援との審査結果通知が届きました。自宅を片付けたいという気持ちがあり、桂川町社会福祉法人連絡会に清掃の協力について相談することになりました。連絡会の会長は、「相談者の気持ちを尊重し、協力する」との回答を出してくれました。小雨の降る中、他市の高齢者施設などからの応援もあり、20名の方が自宅の片付けを行ってくれました。この日だけでは終わらず、もう一日片付けをしてくれました。

その後、足の踏み場もなかった部屋は畳の表替えをして、ベッドが置かれました。これまでは冷蔵庫を使用していませんでしたが、連絡会からリユース品を提供してもらい、食品の保管もできるようになりました。同じような状況にならないよう、今後は整理整頓を心掛けていきたいと思います。また、隣組への加入も考えていきたいです。

ご協力いただいた皆様に、この場を借りて厚くお礼を伝えたいです。ありがとうございました。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金配分金の一部で作成されています。ご意見･ご要望をお寄せください。
社会福祉法人桂川町社会福祉協議会　TEL(65)2271　FAX(65)4555　メールアドレス：fukushi@keisen-shakyo.or.jp